

2026.9.10発行

MARUNAKA GROUP

TIMES

第73号

令和8年度 二本松市優良建設工事

マルナカが優良建設工事で表彰！

受賞工事 市道明主内・岩代界線外舗装復旧工事



二本松市長から表彰状を受け取る当社社長



現場代理人の中村拓夢さん（入社2年目）



表彰式に出席した皆さん

8月21日、令和8年度二本松市優良建設工事表彰式で、当社が施工した「市道明主内・岩代界線外舗装復旧工事」が表彰されました。施工技術や品質、安全への取り組みなどが評価され、二本松市長から当社社長へ表彰状が授与されました。

現場代理人を務めたのは、入社2年目の中村拓夢さん。中村さんの頑張りと、工事に携わった皆さんの協力が実を結びました。今回の受賞を励みに、これからも地域に信頼される仕事を積み重ねていきましょう。

大内俊幸さん 全日本マスタース第2位！

M70・65kg級 トータル108kg



競技中の大内さん



表彰台で喜びを分かち合う

第43回全日本マスタースウェイトリフティング競技選手権大会で、大内俊幸さんが第2位に輝きました。

過去には世界一、日本一にも輝いた大内さん。来年、日本で開催されるワールドマスタースゲームズに向け、日々の練習にも一層力が入っているそうです。みんなで応援しましょう！

まるなかファームで中学生が職業体験！



お昼休みのひとこま。皆さん、いい笑顔です！

近隣の中学生が、2日間の職業体験に来てくれました。1日目はいちご栽培の作業を体験。筒状の道具を使って、土に穴を開ける作業に取り組みました。2日目はカフェの作業や接客を体験しました。

「いちご栽培とカフェ、どちらの仕事をやってみたい都希望したの？」と尋ねると、全員がカフェの方を指さしたそうです。おしゃれな「まるなカフェ」で働いてみたい気持ち、分かりますよね！

今回の体験が、将来の仕事を考えるきっかけになればうれしいですね。



社長のつぶやき

今年は、梅雨が明けてからも晴れの日が続かず、なんとなくパツとしない夏だったように感じましたが、皆さんはどうでしょうか？そんな天候の中でも、植物たちはすくすくと育っています。道路脇の雑草を見てもわかりますよね。

まるなかファームでは、9月中旬からイチゴの定植が始まります。育ててきた苗をハウスに植え、12月の収穫に向けて、いよいよ今シーズンのスタートです。そして年が明けた1月からは、観光いちご園もオープンします。毎年のことではありますが、この時期になると「また今年も始まるなあ」と感じます。

さて、今月は植物の成長に大きく関係する「積算温度」について、つぶやいてみたいと思います。皆さんは「積算温度」という言葉をご存じでしょうか？簡単に言えば、毎日の気温を足し算していく考え方です。

植物はカレンダーを見て、「そろそろ花を咲かせよう」「そろそろ実を赤くしよう」と決めているわけではありません。毎日の温度や日照など、周りの環境を感じながら成長しています。

身近なところでは「桜」があります。桜の開花には「600度の法則」と呼ばれるものがあります。桜の季節になると、テレビなどでも報道されています。2月1日から毎日の最高気温を足していき、その合計がおよそ600℃になる頃に桜が開花するというものです。

実は、イチゴも桜と同じく「600℃」という数字があります。イチゴは、開花から収穫までに必要な積算温度の目安も、およそ600℃とされています。もちろん、品種や栽培環境によって多少の違いはありますが、こうした植物の性質を考えながら栽培しています。

桜も600℃。イチゴも600℃。

同じ600℃でも、桜は花を咲かせるため、イチゴは赤い実になるため。植物は、私たちには見えないところで、毎日少しずつ積み重ねています。

これは仕事も同じだと思います。1日頑張ったからといって、次の日に突然大きな成果が出るわけではありません。一つひとつは小さなことでも、それを毎日積み重ねていくことで、やがて大きな成果につながります。

桜も、イチゴも、一日で600℃になるわけではありません。毎日、少しずつ積み重ねて、やがて花が咲き、実が赤くなる。

仕事も同じです。「コツコツが、勝つコツ。」

特別なことをするのではなく、当たり前のことを毎日コツコツ続ける。簡単なようで、これがなかなか難しい。でも、その積み重ねが、いつか大きな成果につながるのだと思います。

今月も、それぞれの仕事をコツコツと積み重ねていきましょう。もちろん、安全第一、健康第一で！

